

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月6日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
141	内訳書	別紙18 化粧石束について、花崗岩御影石水磨き t 30 接着工法の場所をご指示ください。	A-19, A-20をご参照ください。
142	AL-01, 02	基礎工事に関係するため、室外機置場から建物までの、レベルまた周囲の仕上との取り合いをご指示ください。工事エリア全体の排水計画レベルも含め、ご指示ください。	AL-01, AL-02, L-03, L-05, をご参照ください。
143	A-01~ S-05~	木造特記仕様書の記載が設計図、構造図で記載が異なる場合、設計図を正としてよろしいでしょうか。また、設計図内で記載が異なる場合は、どの図面を正とすればよろしいでしょうか。 以下に代表例を参考にお示しします。 ・ 束柱配置（立面図（A-20）・展開図（A-37）と伏図（A-55）） ・ 縁廻りの横架材の断面寸法（A-30・31、S-16・30） ・ Y16通のX10-12通間の表記（A-37:壁表記、A-38:開口部表記） ・ 床束位置と大引位置の平面位置（S-14, S-16） ・ 床束の断面（A-29・31:120角、S-30:90角） ・ 復元展示室Aの根太間隔（A-31:φ303、S-16@492.5） ・ 一筋敷居・二筋敷居の断面（A-29・31・57） ・ 戸袋柱の断面（A-57:70角と90角、S-17:75角） ・ A-48のH-5・6の鴨居の断面でH45とH60の記載	発注図書の内容に齟齬がある場合は、施工する上で確実性の高い数量・仕様を正としてください。
144	A-16	仕上表について、木仕上の天井下地がLGSになっていますが、法的に制限等があるのでしょうか。法的制限がない場合、施工効率と施工精度の観点から木下地としてお見積してもよろしいでしょうか。	天井下地材に関する法的制限はございません。 LGS下地から木下地への変更も今後の協議において可能性はございますが、現時点では発注図書の通りで見込みください。
145	A-01	4. 木造工事の和室の造作について、柱で背割不要の処置とありますが、処置方法と対象とする柱を具体的にお示し下さい。	対象としては、現しとなるのは柱。 処置方法としては、材面割れや内部割れが生じない適切な乾燥方法を採用してください。
146	A-01	4. 木造工事の表面仕上げについて、機械加工のA種・B種が記載されていますが、仕上げ種別毎の対象箇所がわかりません。見え掛かり部をA種、見え隠れ部をB種としてお見積してもよろしいでしょうか。	A種は、柱（現し）と外装の付柱。その他はB種です。
147	A-02	14. 屋根及びとい工事の粘土瓦葺きについて、「瓦の詳細形状については沼津御用邸の屋根瓦、及び敷地内遺構調査の出土品を参照すること。」とありますが、明細では既製品と記載されています。基本的には既製品で近いものを選定し、鬼瓦や留蓋のように意匠性の高い役物瓦のみは、参照して特注製作するという理解でしょうか。もし、沼津御用邸の瓦材料を参照する場合、計測作業（寸法計測や写真撮影等）は可能という理解でよろしいでしょうか。	鬼瓦と留蓋については、沼津御用邸の瓦を参照し、その他は、既成瓦としてお見込みください。 工事受注後の類似施設への調査については、今後の協議とします。
148	A-02	14. 屋根及びとい工事の粘土瓦葺きについて、いぶし瓦の表面仕上げのご指定はありますか。ご指定のない場合、いぶし銀のままとしてお見積してもよろしいでしょうか。	宜しいです。瓦の色調などについては、玉藻池との調和を考慮していただきたいのですが、現時点で古色調整は想定しておりません。
149	A-02他	14. 屋根及びとい工事の金属板葺きについて、平葺き（一文字葺）の板裁ち寸法をお示し下さい。ご指定のない場合は、4枚切りとしてお見積してもよろしいでしょうか。	宜しいです。
150	A-02	14. 屋根及びとい工事のといについて、仕様が銅板と塩化ビニル樹脂製が指定されていますが、対象部位・対象仕様をお示し下さい。ご指定のない場合は、全て銅板としてお見積してもよろしいでしょうか。	全て銅板としてお見込みください。
151	A-02他	15. 金属工事の銅製飾金具について、「詳細形状については、敷地内遺構調査の出土品を参照すること。」とありますが、仕様について情報提供をお願いします。また、同等品と記載のある企業に見積仕様を確認した所、仕様が異なり費用の差が大きい状況です。具体的な見積仕様についてお示し下さい。	No152の回答を参照されてください。
152	A-02他	15. 金属工事の銅製飾金具について、以下、ご教示ください。 ①製造方法において、鋳造製造の記載がありますが、鋳物の場合3mm以上の厚さになる可能性があります。鋳物の材料については、銅板ではなく、インゴットになります。インゴットの場合、不純物が多く混じりますがよろしいでしょうか。 ②表面処理に「金鍍金（電気又は貼り付け工法）」とありますが、これらは「電気めっき」又は「箔鍍金（水銀アマルガム鍍金）」を示しているという理解でよろしいでしょうか。それとも貼り付け工法は、「漆箔（金箔貼付）」という理解でしょうか。 ③金鍍金の金の厚さについて 箔鍍金や漆箔の場合、金箔（厚さ0.1~0.2μm/枚）を使用しますので、箔押し回数をご指示頂けないでしょうか。 ④釘隠し（丸型）は、材料が銅板の指定があるため、打ち出しや旋盤加工、プレス加工とさせて頂いてもよろしいでしょうか。	飾金物について以下の通り、訂正致します。 ①製造方法について 全種類の飾金物については、各種1つを彫鍍金技法で製作し（元金物）、残りについては、元金物から電鍍又は鋳造で複製してください。 ②鍍金方法については、以下の通りでお見込みください。 電気めっきではなく、漆箔による金箔の貼り付け工法としてください。 ③金鍍金の金の厚さについては、箔押し回数は5回以上でお見込みください。（金箔厚0.1~0.2μm/枚、金箔の純度は99.7%以上） ④よろしいです。 ただし、旋盤加工で製作した際に旋盤痕が生じた場合は、これを除去すること。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月6日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
153	A-02他	15. 金属工事の真鍮製飾金具について、詳細形状については、敷地内遺構調査の出土品を参照すること。」とありますが、仕様について情報提供をお願いします。特注柄の文様もお示し下さい。ご指定のない場合は、縁に蹴り彫りのみを施す仕様としてお見積りしてもよろしいでしょうか。 また、明細に真鍮製飾金具が見当たりませんが、本工事では見積対象外という理解でよろしいでしょうか。	遺構調査資料については、受注後に発注者より提示を予定しております。 特注柄については、花紋様程度をお見込みください。 真鍮製飾金物については、A58図の欄干金物（笹金物）が該当します。
154	A-19, S-30他	木材の品位について、見え掛かりとなる部分の赤身割合は、源平以上の品位を基本とすることでよろしいでしょうか。	宜しいです。
155	入札説明書	競争参加資格について、入札説明書P3 4.(5)3)に記載の要件と別記様式2-1での記載の要件に相違があります。入札説明書の通り文化財保存修理工事が含まれる認識でよろしいでしょうか。	宜しいです。
156		実数量清算について 電気料金、給水料金については実数量清算となっていますが、現在の単価等を教えていただくことは可能でしょうか。	単価は月ごとの園内総使用量との按分となります。 (参考) 令和7年3月の上下水道の園内総量 使用量: 2,830m ³ 料金: 約2,421千円(税込)
157		実数量清算について 給水単価には、排水(下水)使用量も含むと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
158		実数量清算について 雨水排水に伴う排水公課については、今回は発生しないと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
159	入札説明書P5, (2), (3), (ア)	施工方法に関する技術提案における「施工精度の向上に関する提案」の評価内容について、「日本館御殿の復元性を高めることを目的に」に技術的所見が求められるのは、受注者にて作成する矩計図作成、木材の調達、木材加工技術の3つすべてでしょうか。矩計図作成についてのみでしょうかご教示ください。	「矩計図の作成」、「木材の調達」、「木材加工技術」のうち、「矩計図の作成」のみ「日本館御殿の復元性を高めることを目的とした」技術提案を検討してください。 「木材の調達」は図示した等級程度、「木材加工技術」も図示した仕様程度での提案を検討してください。
160	入札説明書P6, (2), (3), (イ)	企業の技術力評価(加算点)において企業の施工能力の同種工事の施工実績にある、より同種性の高い工事について、年間一般来館者数が公開されていない施設はどのように証明すればよろしいでしょうか。確認についてご教示ください。	年間一般来館者数が非公開の施設の場合は、推計値を諸元とともに記載ください。なお諸元の確認のため、追加で資料を求める場合があります。
161		復元的整備において、学識者や専門家による有識者委員会などの設置は予定されていますでしょうか。	有識者へのヒアリングを適宜実施予定しております。
		<共通>	
162	現場説明書	3.現場にかかわる事項(2)施工条件等①施工の制約 時間制限8:30~17:15において、施工実務時間外の8:00~8:30に準備及び安全朝礼、17:15~17:45清掃片付けが行えるものと考えてよろしいですか?	宜しいです。
163	A17 A29 A30 A32 S16	設備電気の埋設配管・配線等がⅡ期工事となるようなので以下を指示ください ①床下配管配線が考えられるWC1・WC2・多機能トイレ・EPS・DSの範囲には、構造図の根太及び意匠図の合板&気密シート&断熱材&根太はⅠ期で施工しない考えでよいですか? ②上記①のエリア以外にも床下配管がある場合にはご指示ください。 ③外周部への突き出し取り込み配管等が絡む範囲がある場合にはご指示ください。(Ⅱ期において、コンクリート土間+化粧砂利洗い出し仕上げ等のⅠ期工事分を壊して施工しなければならぬ範囲は無いものと考えてよろしいですか?) ④内外部でLGSをⅠ期工事にて組み上げる部分には配管配線が無いものと考えてよいでしょうか?	①: 施工します。 ②: ございません。 (ただし、設備を含む2期工事発注図については、今後決定します。) ③: 質疑回答8を参照下さい。 ④: 宜しいです。(設備を含む2期工事発注内容については、今後決定します。現時点では、無いものとしてお見込み下さい。)
164	A-01 A-13 AL-01	「室外機置場1」について、A-01図では新設一式となっておりますが、A-13図では本工事対象外となっております。A-01図を正としてAL-01図記載の内容は本工事対象内と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
165	A-01 A-13 AL-02	「設備用トイレ(室外機置場1側)」について、A-01図では新設一式となっておりますが、A-13図では本工事対象外となっております。A-01図を正としてAL-02図に記載のある内容は本工事対象内と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
166	-	工事関係車両の構内搬出入ルートについて、想定図(別紙①)が通行可能と考えてよろしいでしょうか。異なる場合にはご図示をお願い致します。	現場協議とします。 想定図(別紙①)は添付がなされていませんでした。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月6日掲載）

No.	図面番号	質問	回答案																		
167	-	構内では、工事用車両の通行時に来園者との接触防止対策が必要と思われます。動線区分方法・安全対策等の具体的な処置対策をご指示くださいますようお願い致します。	1. 車両等は、原則として低振動、低騒音型を使用する。 2. 車両等の園内走行は、定められた経路にて、ハザードランプを点灯の上、最徐行（時速15km以下）を行い、来園者の安全確保には十分留意する。 3. 車両等の走行に当たっては、緊急且つ、やむを得ない場合を除き警笛（クラクション）は使用しない。 4. 車両等は、園路以外の場所に進入しない。やむを得ず進入する必要がある場合は、管理事務所の指示を得る。 5. 車両等の駐車は、指定された場所以外では行わない。やむを得ない場合は、その都度管理事務所の指示を得る。 6. 車両等の入退園は、原則として管理門若しくは作業等のために定められた門を使用する。																		
168	現場説明書	(2)施工条件等の⑨に2“大型車両の通行時は園路の養生を行うこと”との記載がありますが、養生方法は強化型プラスチック敷板（通行後速やかに撤去）と考えてよろしいでしょうか。	園路は舗装厚70mm、路盤150mmがある。施工計画においてご検討ください。																		
		(構造関係)																			
169	S-01	確認ですが、本物件は直接基礎ですが、砂利地業は切込砕石ではなく再生クラッパンでよろしいでしょうか。	宜しいです。																		
170	A-31 S-01	砂利地業の厚さについて、矩計図では100mm、構造図では60mmと食い違っております。構造図を正と考えてよろしいでしょうか。	矩計図の通り100mmでお見込み下さい。																		
171		確認ですが、本物件は直接基礎ですが、平板載荷試験は不要と考えてよろしいでしょうか。必要場合は箇所数をご指示願います。	宜しいです。																		
172	参考数量内訳P11 S-01	コンクリ仕様について、参考数量内訳では高炉セメント種と記載がありますが、構造図では特に指定がありませんので、普通ポルトランドセメントと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。																		
173	A-01 S-01	コンクリ仕様について下記のようにかんがえてよろしいでしょうか。 ・単位水量185kg/m3以下 ・単位セメント量270kg/m3以上 ・水セメント比65%以下（上記質疑で高炉の場合は60%以下）	宜しいです。																		
174		現況地盤が分かる資料（現況測量図等）があれば、いただけないでしょうか。	A-12図を参照下さい。																		
175	A-19	設計GLは31.95と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。																		
176	S-01	地業工事に於いて、地盤改良工法に丸がついており、図示によると記載がありますが、図面が見当たりません。採用なしと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。																		
177	S-31	地中梁FG10Aについて、土台下敷石受けのふかしコンがありますが、コンクリート強度は躯体コンと同様で無筋と考えてよろしいでしょうか。	S33図を参照下さい。																		
178	S-01	構造関係特記仕様書の4. 地業工事に於いて、捨コンクリートのスラブが15cm又は18cmとございますが、15cmを採用と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。																		
179	S-14 S-26~28	下記位置の地中梁符号が基礎伏図と軸組図とで相違しております。基礎伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">基礎伏図</td> <td style="text-align: center;">軸組図</td> </tr> <tr> <td>・Y1/X19-32</td> <td style="text-align: center;">FG13</td> <td style="text-align: center;">FG12</td> </tr> <tr> <td>・Y9/X1-12</td> <td style="text-align: center;">FG12</td> <td style="text-align: center;">FG11</td> </tr> <tr> <td>・Y2/X30-31</td> <td style="text-align: center;">FG12</td> <td style="text-align: center;">FG11</td> </tr> <tr> <td>・X19/Y1-5</td> <td style="text-align: center;">FG13</td> <td style="text-align: center;">FG12</td> </tr> <tr> <td>・X24/Y1-2</td> <td style="text-align: center;">FG12</td> <td style="text-align: center;">FG11</td> </tr> </table>		基礎伏図	軸組図	・Y1/X19-32	FG13	FG12	・Y9/X1-12	FG12	FG11	・Y2/X30-31	FG12	FG11	・X19/Y1-5	FG13	FG12	・X24/Y1-2	FG12	FG11	宜しいです。
	基礎伏図	軸組図																			
・Y1/X19-32	FG13	FG12																			
・Y9/X1-12	FG12	FG11																			
・Y2/X30-31	FG12	FG11																			
・X19/Y1-5	FG13	FG12																			
・X24/Y1-2	FG12	FG11																			

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月6日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
180	A-32	<p>矩計図(4)エントランス部等において、建物外部にRC基礎200×200がございますが、コンクリート強度及び配筋を下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <p>・コンクリート強度：Fc24N・SL18 ・配筋： 縦筋（スクラップ型）D10@200 天端と下端補強筋・各2-D13 横筋（腹筋）2-D10</p>	<p>RC基礎の縦断面サイズはH250 W200です。 その他については、お見込みの通りで宜しいです。</p>
181	A54	<p>壁詳細図：真壁間柱45×45の取付けは、ホゾにて取付もしくは、ツラ釘止として宜しいでしょうか？</p>	<p>ツラ釘止で宜しいです。</p>
182	S18	<p>X10通り、Y20-Y17通り中央エントランス桁受材のB15梁は、天井より低く見掛として化粧材となりますか？梁レベルを確認したい。</p>	<p>化粧ではありません。</p>
183	A35 S18	<p>縁側上の化粧梁B24Pにおいて、構造伏図&リストからはH240となっておりますが、意匠矩計図ではH270となっております。どちらを正としますか？</p>	<p>構造図を正としてください。</p>
184	A32 S19 S30	<p>ギャラリー中間梁において、意匠矩計図(4)では120×180となっておりますが、構造矩計図A32ではB10:105×105となっております。どちらを正としますか？</p>	<p>意匠図を正としてください。</p>
185	A35	<p>A詳細X25通りは、軒先タイプAのご指示がありますが、垂木掛けの仕様もしくは化粧梁の仕様でしょうか？ご指示願います。</p>	<p>S-32の通りです。</p>
186	A30 S16 S30	<p>縁側一筋敷居において、構造伏図B13は杉E70となっておりますが、意匠矩計図は桧116×130と表記されています。受木を杉E70とし、敷居は桧小と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
187	A30	<p>断面図において、欄間鴨居・欄間敷居は長押に乘せる形となるためⅡ期工事なると考えてよろしいですか？</p>	<p>Ⅰ期工事にお見込みください。</p>
188	A22	<p>断面図8において、構造から違い出すと〔添付資料1〕のようになると思われます。梁高さの再確認をお願い致します。 ①Y10通り梁レベルがCH3200より下となっております。CH3000程度へ下げる考えでよろしいですか？ ②Y13通り梁レベルがCH3000より下となっております。CH2700程度へ下げる考えでよろしいですか？</p>	<p>発注図の通りでお見込みください。 寸法調整については、現場協議とします。</p>
189	A39 S14 S17	<p>X12-Y17通り柱C13(4)において、構造図1F床から立ち上がっていますが、意匠展開図Cでは1Fより下に伸びています。X10-Y17通り柱C13(3)と同様に1F床から立ち上がる納まりと考えるとよろしいですか？</p>	<p>意匠図の通り、土台から立ち上がりでお見込みください。</p>
190	A-01 現場説明書(5) 発生材等 ⑦建設発生土の 処理方法	<p>木造特記仕様書(その1-1) 3-1 土工事 と 現場説明書(5) 発生材等 ⑦ 建設発生土の処理方法 に於いて、発生土の処理方法が下記のとおり相違しております。 現場説明書を正とし、場外搬出 搬出距離(29km以内)と考えると宜しいでしょうか。</p> <p>・木造特記仕様書(その1-1) 3-1 土工事 構内の指示場所に堆積</p> <p>・現場説明書(5) 発生材等 ⑦ 建設発生土の処理方法 場外搬出 搬出距離(29km以内)</p>	<p>宜しい。ただし構内指定場所に一時保管は可とする。</p>
191		<p>【参考】金抜き内訳書において、P108の東石に下記の項目が計上されておりますが、図面上で 詳細図 及び 設置場所・設置位置が確認出来ませんでした。 詳細図、設置場所を御指示下さい。</p> <p>【参考】金抜き内訳書 P108 東石 ・化粧石束 花崗岩 御影石水磨き(t30) 接着工法 2.0m2</p>	<p>質疑回答141を参照下さい。</p>
		<p>(外部仕上関係)</p>	

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月6日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
192	A-12・28 S-33	現況図に『既存景石再利用(4個)』とあります。下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・既存沓脱石 2個 ・既存束石(天然石) 2個 計4個 異なる場合は、内容を御指示下さい。	宜しいです。
193	A-18・19	屋根伏図凡例にK: 熨斗瓦に『大棟:4段、降棟:2段』とありますがROOF2/3取合の大棟(X8-17/Y15)に指示のある熨斗瓦は立面図より2段と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
194	A-18	屋根伏図においてX26/Y18の隅棟先端に凡例P:隅棟鬼瓦の指示がありませんが必要と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
195	A-18	屋根伏図において『むくりA(ROOF2・3)』『むくりB(ROOF1)』の指示がありますが使い分けの内容を図面で御指示下さい。	むくりBは、むくりAよりも曲率が大きい。
196	A-18	また、御車寄せ屋根にむくりA・Bの指示がありません。勾配の近いROOF1に倣い『むくりB』と考えると宜しいでしょうか。	御車寄せ屋根のむくりは図示の通りでお見込み下さい。
197	A-18	屋根伏図において降棟(ROOF1・御車寄せ屋根)に瓦屋根凡例の記載がございません。凡例K・Lが必要と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
198	A-19 A-20	立面図において、下記の部分に『縦格子』の指示がありますが図示と異なります。図示を正と考えると宜しいでしょうか。縦格子が必要な場合は寸法と数量を御指示下さい。 ・北側X1-2間 ・南側a2-3間 ・東側Y10(倉庫2下部) ・西側Y9-12間	図示の形状を正とと考えてください。縦格子は不要です。
199	A-30・31	矩形図において、基礎に撥水材の指示がありますが、撥水材は汎用品と考えると宜しいでしょうか。異なる場合は仕様・メーカー品番等を御指示下さい。	宜しいです。
200	A-30・31	矩形図において、基礎/土台取合いに通気パッキン(既製品)とあります。メーカー品番を御指示下さい。	城東テクノKP-120 同等品でお見込みください。
201	A-54	壁詳細図において、外壁の(長押し上部)に『亀裂防止ネット』とありますが仕様・詳細・メーカー品番をご指示下さい。	既製品のガラスファイバーネットでお見込みください。
202	A-32	矩形図(4) エントランス部において、平面図(腰壁)のブラケット裏に『調整材:ゴムパッキン』とありますが、断面図のブラケット裏には指示がありません。調整材:ゴムパッキンの仕様・詳細・納まりをご指示下さい。	硬質ゴムt20W120、接着貼 でお見込みください。
203	A-32 S-19	矩形図(4)と構造図でエントランス部の垂木の部材寸法が相違しています。構造図を正と考えると宜しいでしょうか。 ・矩形図(4): 45×90 ・構造図 : 45×60(正)	構造図が正で宜しいです。
204	A-30	下記の金属屋根の軒先の詳細がありません。矩形図(2)休憩スペース緑側に倣って宜しいでしょうか。 ・倉庫1-3屋根 ・中央エントランス屋根 ・ホ-11庇(中央エントランス)	宜しいです。
205	A-30	また、上記屋根のケラについて、詳細がありませんが、ケラ納まりを下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・淀:杉55×120+ケラ板:杉 30×91 (広小舞は無しと考えると良いでしょうか。)	宜しいです。
206	A-24	天井伏図において、ホ-11庇に『化粧天井野路板』とありますが詳細がありません。詳細及び樹種を御指示下さい。	屋根裏天井でお見込みください。
207	A-24 A-30	また、ホ-11庇の軒天の仕様を除き軒先の納まりは納まり仕様を矩形図(2)休憩室南側に倣って宜しいでしょうか。	宜しいです。
208	A-32	エントランス部 金属屋根のケラ納まり(木工含め)について詳細が見当たりません。軒先に倣い下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・淀:杉 30×135+ケラ板:杉30×135 (広小舞は無しと考えると良いでしょうか。)	宜しいです。
209	S-33	中央エントランスの庇について、構造図において柱部束石がGIR納まり(C12C)となっています。中央エントランスの庇の柱足元の仕上の納まりを御指示下さい。	RC化粧打放し撥水剤塗布。 形状については、A19を参照ください
210	A-62	部分詳細図(7)【御車寄】において、垂木の小口に『胡粉塗装』の指示がありますが、御車寄以外の垂木小口にも胡粉塗装は必要でしょうか。必要な範囲をご指示下さい。	不要です。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月6日掲載）

No.	図面番号	質問	回答案
211	A-32 A-33	エントランス軒天(天井)について下記のように相違しています。断面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・矩形図:化粧野地板 巾φ15w300 本実加工10×10 ・断面詳細図:化粧野地板 巾φ15w300 本実加工10×10 …(正) (屋外・屋内で仕様を変えるのでしょうか)	宜しいです。
212	A-30	矩形図(2)の天井伏図において、休憩所南側(縁側)の屋根裏天井の小舞のヒツチが表記(@200程度)と図示(@330程度)で相違しています。表記@200程度を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
213	A-31	矩形図(3)において、御座所(縁側)の屋根裏天井の小舞のヒツチが断面詳細図(@150)と天井伏図(@327.3)で相違しています。断面詳細図(小舞@150)を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
214	A-32 A-60	エントランス部壁見切(桁部)の樹種が矩形図(桧 75×60)と部分詳細図(5)(杉 75×65)で相違しています。矩形図(桧 75×60)を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
215	A-60	また、部分詳細図(5)において、エントランス自動ドア廻りの各種見切(AD上部・側部・付長押・付鴨居)の樹種に杉とあります。確認となりますが杉材で宜しいでしょうか。 (各図での相違はありません)	宜しいです。
216	A-01 A-56 A-58	各階段の踏石の仕様が特記仕様書と部分詳細図で下記のように相違しています。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 特記仕様書 部分詳細図 ・階段4 安山岩 水磨 花崗岩 水磨 (鉄平石) (稲田石) ・階段1-3 “ 花崗岩 割肌 (白御影)	宜しいです。
217	A-18 A-62	軒樋など下記の項目の板厚が屋根伏図凡例(t=1.2)と部分詳細図(t=0.5)で相違しています。屋根伏図(t=1.2)を正と考えて宜しいでしょうか。 ・軒樋A・B ・集水箱樋A・B ・這樋 ・呼び樋	t0.5が正です。
218	A-20	立面図でホ-12底(中央エントランス)は『銅板(一文字葺)2』とありますが、外部～外部となり本体屋根からも独立しているため、屋根の断熱材(吹付t10・敷込t60)は不要と考えて宜しいでしょうか。	躯体保護のためお見込みください。
219	A29～32 A-54	白漆喰の納まりが矩形図と部分詳細図で相違しています。矩形図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・矩形図:本漆喰(下地含む)t10+ ラスカットボードt9+防水シート+構造用合板 ・部分詳細図:白漆喰t20+亀裂防止ネット +防水シート+構造用合板	矩形図が正です。ただし、亀裂防止ネットは見込みます。
220	A-01	礎石の石種が特記仕様書(花崗岩:稲田石同等)と構造図(安山岩:鉄平石同等)で相違しています。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。	A-01が正です。
221	A-19・23・29	御車寄について、天井をCH3700Iに張っているため屋根の入母屋部分は塞ぎが必要と思われます。入母屋の仕上・納まり・詳細を御指示下さい。	現場協議とします。
222	A-19・29・62	また、懸魚の形状・寸法が不明確です。詳細を御指示下さい。	A62図を参照ください。
		(内部仕上関係)	
223	A-16 A-23・24 A-30	下記に示す木製天井について、表面仕上が記載されていませんが、外部を除き木材保護塗装等の塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。(廻り縁も含む) ■猿頬天井 ■稲子天井 ■屋根裏天井 ■敷目板天井 (見え掛かりになる柱・梁の仕上は特記なき限り木材保護塗料塗りとなります)	外部に露出される木部は、木材保護塗料2回塗り。 内部の天井は今回工事対象外です。
224	A-28	復元展示室A,B縁側 欄干について、両開き部の納まり・取付金物等の詳細を御指示ください。	欄干は今回工事対象外です。A-53図参照
225	A-28	また、両開き部の寸法は下記の様と考えて宜しいでしょうか。 ■外部階段1前 W1800 ■外部階段2前 W1050	欄干は今回工事対象外です。

No.	図面番号	質問	回答案
226	A-24	空調チャンボックス(設備工事)について、確認ですが、チャンボックス部のガラス巻きも設備工事と考えて宜しいでしょうか。	2期工事の対象です。
227	A-24 A-28 A-35	復元展示室廊下2の天井高について、天井伏図でH2150、展開図ではH2700で相違しています。展開図を正と考えて宜しいでしょうか。	H=3000でお見込みください。
228	A-21・26	通り土間ギャップに指示がある下がりかべC(左図赤部)について、CH2650の周囲に指示があるため天井上に必要という指示に思われますが、エントランス部の棟木より高いため下がりかべCは不要と考えて宜しいでしょうか。 それとも垂木～梁上部に垂壁(両側ボード+仕上)が必要でしょうか。 (平面詳細図) 	現場協議とします。
229	A-31・58	欄干金物について、矩計図(3)/平面詳細図より、柱廻りの支柱上端に欄干金物(釘隠し)は不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
230	A-28・58	欄干金物の形状について、欄干両開き部の支柱上端は、半笠型の欄干金物を見込むと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
231	A-53・55	吊束の有無について、部分詳細図キプラン(無し)と建具表(12)/WRGI-1(有り)で相違している箇所があります。建具表(12)よりWRGI-1部に吊束が必要と考えて宜しいでしょうか。(下図赤丸部/2箇所) 	宜しいです。
232	A-30・38・52・55	下記の場所の吊束の仕様について、矩計図(2)と展開図(5)及び建具表(11)で相違しています。展開図(5)及び建具表(11)を正と考えて宜しいでしょうか。 ■休憩スペース～休憩スペース縁側間 矩計図(2)：ｽｷﾞ 130×105 展開図(5)及び建具表(11) ：ヒキ 見附105 見込130 【正】	宜しいです。
233	A-17 S-24・25・28	X25通りの小屋裏界壁部の梁型について、構造図で梁型が見当たりません。X24通り軸組図に倣い、梁型(B30・B1015)があると考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
234	A-25・56	腰壁の木組下地について、確認になりますが、内壁と同様の木下地に支柱支持材があると考えて宜しいでしょうか。 内壁 木下地： 木間柱45×45 @450以下 木胴縁45×100 @610以下 支柱支持材：75×75	宜しいです。
235	A-28・59	床脇にある間仕切(下図赤部)について、下記と考えて宜しいでしょうか。 ■床脇FL～天井 ■木間柱：30×30 @450以下 ■木胴縁：30×100 @610以下 	宜しいです。
236	A-16	化学物質の濃度測定について、以下を指示ください ①Ⅱ期工事での接着剤等使用量が多くなり途中段階の想定値は意味を成さない為、今回は別途と考えて宜しいでしょうか。 ②もしも、測る場合には、測定バツF.V (バツF型)法でよろしいでしょうか？ ③Ⅱ期の着工前・後の2回測定にしますか？	① 宜しいです。 ② 1期工事対象外です。 ③ 2期工事発注段階で検討します。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月6日掲載）

No.	図面番号	質問	回答案
237	A-32・33・62	断面詳細図/エントランス部、矩計図(4)及び部分詳細図(7)において下記範囲の土間に断熱材敷き込みの指示がありますが範囲が不明確です。範囲図をご指示ください。 ・北エントランス ・南エントランス ・通り土間ギャラリー、玄関、内部スロープ1 ・車椅子乗換えスペース ・中央エントランス	北エントランス、南エントランス、通り土間ギャラリー、玄関、内部スロープ1、車椅子乗換えスペース、中央エントランスの土間スラブ上全域に断熱材を敷き込みします。
238	A-17・21・23・26	X2-3/b2-3にある部屋について、平面図及び断面図と平面詳細図及び天井伏図で指示が相違しています。平面詳細図及び天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 平面図及び断面図 → 収納 平面詳細図及び天井伏図 → PS 【正】	収納が正です。
239	A-40・61	また、建具表にWD-2(収納)がありますが建具キープランにありません。上記回答が収納となる場合は建具キープランのWDB-5(PS)をWD-2に読替えるものと考えて宜しいでしょうか。(WDB-5とWD-2のどちらかは該当無しと考えて宜しいでしょうか。)	A-40建具表通りです。
240	A-16・28	仕上表 倉庫1～3の壁仕上に『腰壁:羽目板張』とありますが、腰壁の高さ・断面詳細を御指示下さい。	腰壁高さはH1200でお見込みください。詳細は現場協議とします。
241	A-28	平面詳細図において、倉庫1に『床下入口』の記載があります。詳細をご指示下さい。	鋼製床点検口600×600
242	A-33 S-26・28	エントランス部の梁の寸法について、断面詳細図と構造図で相違しています。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。 a1・a3通り、a1-a3間 断面詳細図 H=180 構造図 H=105・150	意匠図が正です。
243	A-56	車椅子乗換えスペースの床 フロリングについて、モル面にフロリング直張となっておりますが、モル材フロリング t10及び下地合板t12(捨張)が必要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
244	A-16・25～28・54	外壁側の壁の仕様について、壁詳細図/外壁と平面詳細図/壁下地凡例及び仕上表で相違しています。平面詳細図/壁下地凡例及び仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。 壁詳細図：合板面に仕上 平面詳細図及び仕上表 ：合板面に石膏ボード/ケイ板の上に仕上 【正】	内装は今回工事対象外です。
245	A-06 A-32	壁 硬質ウレタンフォームについて、特記し証書で「A種1又はA種1H」と記載されていますが、A種1と考えて宜しいでしょうか。	壁 硬質ウレタンフォームについて、特記“仕様書”で「A種1又はA種1H」と記載されているものは、A種1と考えて宜しいです。
246	A-06 A-32他	土間部床・立上りのスチロフォーム t50について、2種b程度と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
247	A-26	壁見切B(栓一方枠)について、浸透性保護塗装と記載されていますが、メーカー品番を御指示ください。	内装は、今回工事対象外です。
248	A-03	下記の仕上のボード面・ケイ板の素地こしらえについて、A種(継目処理)と考えて宜しいでしょうか。 ■ 漆喰調塗装 ■ 茶根岸砂壁	内装は、今回工事対象外です。
249	A-16 A-39	【参考】金抜き内訳において、1FWC前室 腰壁見切が計上されていますが、WC前室に腰壁の指示が無い為、不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
250	A-26	【参考】金抜き内訳において、WC前室～WC1・2部に床見切Bが計上されていますが、WC1・2の扉部には敷居が図示されている為、床見切Bは該当なしと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
251	A-26	【参考】金抜き内訳において、玄関・通り土間ギャラリー等で「下り壁下端見切縁」が計上されていますが、意匠図に下端見切縁は図示されておられません。不要と考えて宜しいでしょうか。	必要です。
		(建具関係)	
252	A-41・51	WRGL-8について、建具表姿図に中央エントランスの記載がありますが、欄間キープランではWRG-18(建具表無し)と相違しています。欄間キープランのWRG-18をWRGL-8に読み替えて宜しいでしょうか。	WRGL-8で宜しいです。

No.	図面番号	質問	回答案
253	A-51-55	また、中央エントランス(A面)の吊束について、部分詳細図キープランで指示がありますが、建具表(10)/WRGL-8より、不要と考えて宜しいでしょうか。	現場協議とします。
254	A-40-46	WDM-1・3について、建具表備考欄に「外部に面する建具」の記載がありますが、建具・雨戸キープラン取付箇所より内部建具と考えられる為、内部建具として計上して宜しいでしょうか。	現場協議とします。内部建具別途になります。
255	A-03-40-44-50	網戸-1について、建具・雨戸キープランのWW-9付近に網戸が見当たりません。また建具表の設置場所が網戸-1(管理者控室)とWW-9(中央エントランス)で相違しています。キープランより網戸-1は不要と考えて宜しいでしょうか。(木造特記仕様書17項網戸の該当建具のWW-9・WDL-9は誤記と考えて宜しいでしょうか。)	現場協議とします。網戸不要です。
256	A-50	AD-2の額入ガラスについて、建具表姿図に寸法が見当たりません。半径300mm円形とし、中間の幅を100mmと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
257	A-51	WRGL-8について、ガラス枠の記載が見当たりませんが、他建具に倣いがラス枠3分割と考えて宜しいでしょうか。	現場協議とします。
258	A-44	WDL-1・2について、鴨居のH寸法が姿図(H60)と姿図備考(H45)で相違しています。姿図備考を正とし、鴨居H45と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
259	A-46	WDM-14のW寸法について、姿図(W=462)と建具表(W=426)で相違しています。建具表を正としW=426と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
260	A-44-46	建具表特記に「敷居に溝がある場合、敷居埋め材設置」と記載がありますが建具姿図で下枠(膳台等)の記載がある建具(腰上設置の建具)に敷居埋め材設置は不要と考えて宜しいでしょうか。	必要です。
261	A-28-40	戸袋3について、建具・雨戸キープラン・平面詳細図等で建具の指示が見当たりません。建具の取付が必要な場合は建具符号等の建具仕様をご指示下さい。	WDM-10です。
262	A-46-57	WDM-10について、戸袋5に取付く建具ですが建具表H2130・戸袋詳細図ではH1499.5と相違しています。戸袋詳細図を正としH1499.5と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
263	A-27-28	WDS-2~4について平面詳細図に「雨戸戸当り」と記載がありますが寸法をご指示ください。	図面から採寸ください。
264	A-42	がり形状について、共通事項に外部Ⅰ型・内部Ⅲ型と記載がありますがⅠ型・Ⅲ型の凡例図示が見当たりません。ご指示下さい。	現場協議とします。
265	A-50	WD-1の枠塗装にSOPとありますが木枠の樹種はヒケで宜しいでしょうか。	特記事項を参照ください。
266	A-43	G-1について、建具表形状分類に18枚引硝子障子とありますが、姿図は17枚の図示で相違しています。姿図を正とし「17枚引硝子障子」と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
267	A-28-40	復元展示室廊下1(X24/b1)に取付くWDM-2の枠について、建具表と平面詳細図で下記のように相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 ■建具表【正】 縦枠:130×30 ■平面詳細図(4) 方立:130×48	宜しいです。
268	A-30-52	休憩スペース縁側に取付くWRG-3~7の枠について、建具表と矩形図で下記のように相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 ■建具表【正】 21×35 ■矩形図(2) 30×35	矩形図を正としてください。
269	A-51	建具表WRGLについて、枠寸法が姿図と(右上)詳細図で下記のように相違しています。詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 ■建具表 姿図備考【正】 21×35 ■建具表 詳細図 21×30	宜しいです。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（令和8年3月6日掲載）

No.	図面番号	質問	回答案
270	A-31	また、WRGLの組子(縦格子)のピッチが建具表(@60)と矩形図(@125)で相違しています。建具表(@60)を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
271	A-31	WRGI-1の詳細について、建具表と矩形図で下記のように相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表【正】 矩計図(3) ■ガラス フロート厚3.0 厚4 ■額縁 桧23×60 桧24×70 ■押縁 9×9 樺9×10 ■組子 5×5@17 樺5×9@17	宜しいです。
272	A-43～	建具用金物について、建具表G-1等に「真鍮引手・真鍮丸球柵締め」と記載がありますが、既製品と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
273	A-43～	G-1等に使用される『ゆらぎがう』のメーカー品番をご指示下さい。	同等品対象を指定しておりません。 特注製作は想定しておりません。 あくまで既製ガラスを想定しております。
		(外構関係)	
274	AL-02	詳細図-2 配管ピットに於いて、U字溝化粧蓋の仕様及びメーカー品番をご指示下さい。	質疑回答136を参照ください。メーカーについては同等品対象を指定しておりません。
275	AL-01	詳細図-1 室外機置場1の塀の笠木下端に『水切』とありますが、笠木:カガカハの水切り加工と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
276	AL-02	詳細図-2 配管ピットにおいて、ハ小屋詳細図に点検扉(鋼製、片開き、鍵付)の指示がありますが、片面ワッパ戸と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
277	AL-02	詳細図-2 配管ピットに於いて、共通事項に記載されている自閉樹脂塗膜防水のメーカー品番及び仕様の程度をご指示下さい。	大関化学工業株式会社 パラテックス 同等品
278	A-07 AL-02	確認となりますが詳細図-2 配管ピットのハ小屋及び配管トンネルに記載されている砕石t100の仕様は特記よりRC-40(再生材)と考えて宜しいでしょうか。 異なる場合は仕様をご指示下さい。	宜しいです。
109	K-01	計画地における、既存埋設配管の位置と深さのわかる図面のご提供をお願いいたします。	後日回答としていたN0109について訂正をします。 (誤) 今回添付する参考図をご確認ください。深さについては後日別途とする。 (正) 前回参考図の光ケーブル土被り300mm程度、今回参考図の消火栓土被り800mm程度です。施工計画作成時に確認をしていただきます。